

そう だい かみ あい せい ぎ
総 題 「神の愛と正義」

だいはち か じゅう い し あい かみ せつり に がつにじゅう に にち
第8課 自由意志、愛、神の摂理（2月 2 2日）

たけだ まさや
武田 将弥

いち あんそくにちご
1. 安息日午後

「摂理」という言葉を調べると「宇宙や世界を支配している法則」とか「神様の計画や配慮」という意味があります。ここで注意しなくてはならないのが、神様はこの世界を支配して導いておられますが、世界の流れを作り出しているのは人間たちであるということです。世界の歴史を思い返してみると、争いや戦争という悲しい事件が繰り返されています。これは神様が戦争や苦しみを与えているわけではありません。むしろ悪魔や、罪を持つ人間たちが、自分たちの欲望のまま好き勝手に生きているので、こういう悲しい歴史が繰り返されているのです。



に にちようび わたし しゅけんしや かみ
2. 日曜日：私たちの主権者なる神

神様は天地すべての造り主であり支配者ですが、天使や人間などの被造物には自由意志を与えました。決まった反応と動きしかできないロボットではなく、神様と同じように自分で考えて動く、心を持った存在として造られたのです。その結果として世界は様々な生き物や植物などが、生き生きと活動する素晴らしい世界となりました。

しかし罪が入り込んだので、人間たちの心は神様から離れてしまいました。神様は天地すべての支配者ですから、被造物である人間の心を操作して神様のところに戻ってくるようにすることは出来ますが、愛である神様はそのようなことはなさいません。

その証拠としてマルコによる福音書4：3 5～4 1には、弟子たちと湖を渡った時に嵐となり、イエス様が嵐に向かってお叱りになると、すっかり静かになったという話があります。神様は人間を助けようとされますし、自然界は神様の言う事を素直に聞き従いますが、人間はなかなか神様の言うことを聞かないし、信頼しきれていないという、分かりやすい例話だと思います。

さん げつようび

3. 月曜日：パントクラトール



パントクラトールとはギリシャ語で「全能者」という意味です。神様はたしかに全能者ですが、愛のお方なので相手の心を強制したりしません。やろうと思えばむりやり屈服させることも出来るかもしれませんが、神様は世界を創造される前から強制は絶対になさらないのです。全能者の神様にも「人格とご品性」があるということをお忘れはいけません。その支配者である神様が私たちのことを尊重して下さるのですから、被造物である私たちは神様を当然尊重するべきではないでしょうか。

よん かようび かみ あい

4. 火曜日：神を愛すること

聖書の「神を愛しなさい」という掟は、神様が強く望んでおられることでもあり、私たちが本当の意味で幸せな人生を歩めるという約束でもあります。私たちは自由意志があるので、神様を愛さないという選択も出来ますが、その場合は心に平安がない人生を歩むこととなり、苦しむことは自己責任になります。どのような人生を選ぶかはその人の自由ですが、神様は信仰の道を選んで幸せになってほしいと願われておられます。



5. 水曜日：神の理想的御心と救済的御心

勘違いされやすいですが聖書は運命論ではありません。もしも最初からすべての運命が決まっているのなら、私たちがどんなに努力しても無駄になってしまいます。聖書には未来のことが記されていることもありますが、それは神様が未来を決め付けているのではなく、このままいればそういう結果になっていくと知っておられるのです。人間と違って神様は広く全体的に世界の様子を、正しく見ておられるので、間違いのない判断が出来るのです。

理想的御心とは：神様が望まれており、私たちも神様と同じく望めばそれが実現すること。

救済的御心とは：神様が望むことから外れても、※万事が益となるように計らってくださること。（ロ

ーマの信徒への手紙 8：2 8）

聖書にはこれらの御心が表れていることがわかります。神様は愛であり、そのことに感謝です。

※万事が益となるように計らってくださる：悪いように見えても、やがて良い結果になるという意味

ろく もくようび

6. 木曜日：キリストはこの世に勝れた

残念ながらこの世界は大闘争の中にあります。だから苦しみや試練がありますが、神様は私たちと共

にいてくださいます。イエス様が私たちと一緒に問題の解決に向き合ってくださいとすることに希望があります。なぜならイエス様は「既にこの世に勝っている」(ヨハネによる福音書 16: 33) からです。

7. 金曜日：さらなる研究

イエス様による十字架の贖いはアダムたちが墮落した時点で考えられた計画ではなく、罪が犯される前から神様が決めておられたのでした。神様は世界を創造された時に、人間が罪を犯す可能性を分かっておられ、人間が罪を犯した場合の救いもすでに用意しておられたのです。救いはご自分のひとり子であるイエス様を与えることでした。主なる神様の大きな愛のあらわれに感謝いたします。



★振り返りの質問★

私たちはこの世の悪や苦しみを嘆きますが、神様も同じように、この世の悪や苦しみを嘆き悲しんでおられます。みんなで考えてみましょう。